

見て・食べて・買って・憩う **むなかた散歩**

玄界灘を臨む絶品フレンチ



パリ・シャンパーニュやオーヴェルニュ地方の一ツ星、三ツ星レストラン出身のシェフがプロデュースするフレンチレストラン。地元宗像をはじめ、国内外の食材を厳選して調理し、旬の素材の味を生かした独創的なフレンチを味わうことができます。玄界灘を一望できる抜群のロケーションは、料理を待つ時間も楽しませてくれるはず。



ホテルグレイジュ
 【住所】宗像市神湊600
 【営業時間】ランチ11:30～14:30、
 ディナー17:00～20:00
 【休業日】不定休【電話】0940-38-7700

3Dで沖ノ島を体感!



宗像の歴史や文化を知ることができる学習交流館。市内の遺跡から見つかった出土品の展示のほか、体験学習コーナーが設けられています。中でもおすすめは3Dシアター。ここでは、普段は入島が許されない「神宿る島」沖ノ島の神秘的な世界を3D映像で体験することができます。



海の道むなかた館
 【住所】宗像市深田588
 【開館時間】9:00～18:00
 【休業日】月曜日(祝日の場合翌平日)
 【電話】0940-62-2600

「美肌の湯」でひと休み



宗像の緑に囲まれた山のふもとにある、全館かけ流しの日帰り温浴施設。超軟水でナトリウムイオンを豊富に含んだ天然の温泉は、やわらかい肌触りで、体にやさしい「美肌の湯」。季節の食材にこだわった飲食サービスやエステ、タイ式ストレッチなどのリラクゼーションも充実。宗像散策の休憩にぜひ立ち寄りたいスポットです。



宗像王丸・天然温泉やまつばさ
 【住所】宗像市王丸474
 【営業時間】10:00～24:00
 (最終入館受付23:00)
 【休業日】第3水曜日
 【電話】0940-37-4126

自家製野菜や加工品がズラリ



循環型肥料で栽培した野菜や、平飼いでのびのびとした環境の中で育ったニワトリの卵を使ったプリンやケーキ、パンなど、宗像の豊かな自然のもとで育まれた食材を購入することができるお土産選びにうれしいスポット。併設されたレストランでは、自家製の小麦をつかったうどんや野菜を使った料理を味わうこともできます。



まねき猫
 【住所】宗像市吉田822-1
 【営業時間】直売所8:00～17:00、
 レストラン11:00～15:00
 【休業日】直売所/月、レストラン/水木金
 【電話】0940-38-7007



「神宿る島」宗像・沖ノ島

九州には、歴史と自然にあふれたおでかけスポットが各所に存在しています。そんなとおきのおでかけスポットをめぐる「おでかけ遺産」。

第一回目は、世界遺産を目指す「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が所在する宗像市周辺をご紹介します。

沖津宮遙拝所 沖ノ島への立ち入りは禁じられており、大島の沖津宮遙拝所で沖ノ島を遙拝(遙か遠くから参拝するという意味)することができます。

古代日本の
 信仰の形を残す
 唯一の遺産

4世紀後半から9世紀末にかけて、航海の安全と外国との交流の成功のために大規模な祭祀(さいし)が行われたという沖ノ島。九州本土から60キロ離れた玄海灘の真ん中にあり、日本古来の信仰のかたちとその移り変わりを知ることができる、唯一の貴重な遺産として平成29年の世界遺産登録を目指しています。

沖ノ島での祭祀から誕生したのが、古事記・日本書紀の神話にも登場する宗像三女神。沖ノ島の沖津宮、宗像市神湊から11キロ離れた大島の中津宮、九州本土の辺津宮にそれぞれ祀られており、この三宮を合わせて宗像大社といえます。

この沖ノ島祭祀を行った古代豪族宗像氏の墳墓群である新原・奴山古墳群は沖ノ島へ続く海を一望する台地に築かれています。沖ノ島(沖津宮)、中津宮、辺津宮で構成される宗像大社(宗像市)、新原・奴山古墳群(福津市)は世界的にも注目を集めているスポットです。



沖ノ島(宗像大社沖津宮)

厳しい入島制限などの禁忌に守られ、島そのものが信仰の対象とされてきた。発掘調査によって出土した8万点に及ぶ奉獻品はすべて国宝に指定されている。



沖津宮社殿



新原・奴山古墳群



宗像大社中津宮



宗像大社辺津宮

宗像大社三宮の中心となる神社。境内にある神宝館では沖ノ島の奉獻品(国宝)をはじめ、貴重な品々が数多く展示されている。

<問い合わせ> 事務局:福岡県企画・地域振興部総合政策課世界遺産登録推進室 TEL:092-643-3162 <http://www.okinoshima-heritage.jp>